

「認知的インタラクションデザイン学」公開講義

京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 情報工学専攻では、2015年度より、インタラクションデザイン学コースを設置し、そこでの授業として「認知的インタラクションデザイン学」を開講しています。本講義は、公開講義として実施しますので、学内外から、どなたでもご参加いただくことができます。参加費無料、事前登録は不要です。

問い合わせ先: 京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 岡 夏樹 (nat AT kit.ac.jp)

演題: 自分以外の心は存在するのか? -不可能問題へのロボットを用いたアプローチ-

講師: 高橋 英之 (大阪大学大学院 基礎工学研究科 特任講師)

日時: 2016年6月14日(火) 16:10-17:40

会場: 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 東部構内 東3号館(ノートルダム館)3階 K-303教室

概要: 他人の心を思いやる, 他人の心に配慮する, このように他者の心を意識した振る舞いをする事は, 社会で生きていくために必須な能力であると考えられている. その一方で, "他者の心" という概念は曖昧であり, 科学が発展した現在におても心とは何なのか, その統一された理解はなされているとはいいがたい. 今回の発表では, 一人称的心(自分に心があるという意識)と三人称的心(他者に心があるという意識)をそれぞれ明らかにするために行われてきた研究(主にロボットを用いた実験)について紹介することで, 心を科学する上で今後超えるべき壁について参加者で議論を深めたい.

